



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 11 月号

湘南海岸に露頭・化石が現れる?!

去る9月7日に小田原市付近に上陸した台風9号のことは、まだ記憶に新しいと思います。上陸時の勢力の大きさはまれに見るもので、相模川増水に伴う避難勧告や市民スポーツ広場の閉鎖などもありました。この台風9号がもたらした出来事の一つに、大磯～二宮の砂浜の侵食がありました。海岸の砂が持ち去られてしまったことで、これまで見ることの出来なかった、露頭や化石が現れたのです！（詳細は2ページ）



台風で現れた大磯層(大磯町西小磯)

～休館のお知らせ～

期間：2007年11月27日（火）～12月28日（金）

☆新年は1月4日（金）から開館いたします☆

第4収蔵庫のアスベスト除去工事のため、11月27日（火）から12月28日（金）まで、博物館は休館になります。広範に飛散しない方法で工事をおこないますので、展示室には影響はないのですが、念のため、全館を休館とします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

台風一過、湘南海岸に新たな露頭・化石が出現！

台風9号は小笠原諸島から北上し、9月7日午前2時前、965hPaの勢力を持った最盛期に小田原市付近に上陸しました。台風の接近に伴い、神奈川県では大雨となり、県内全域に大雨洪水警報が発令されました。県西部では、松田町松田惣領の酒匂川に架かる十文字橋の橋脚が流されたり、西湘バイパスの大磯西IC～西湘二宮IC間が路肩崩壊して通行止めとなりました。

西湘バイパスの路肩が崩壊したのは、台風により砂浜が大きくえぐり取られたからで、この台風が去った後に西湘海岸を調査したところ、普段、砂浜

の所に、新しく露頭が出現していました。1箇所は葛川河口東側の西小磯海岸で、大磯層と呼ばれる600万年ほど前の地層が長さ400mに亘って露出しました。ここは大磯層の貝化石を多産する地点として有名ですが、普段は貝化石を含む礫岩がごく一部しか露出していません。2001年9月にも台風により砂が持ち去られ、露頭が現れましたが、今回はその時以上に露出しました。大磯層は主に砂質泥岩と火山噴出物(テフラ)との互層からなっており、白色と黒色のきれいなテフラの縞が数多く見られました。以前の調査で、大磯層はかつてのプレート境界にあった海溝(トラフ)の陸側斜面に堆積した地層で、伊豆弧の火山からもたらされた火山噴出物を数多く挟んでいることなどがわかっていました。今回の露出で、地層の積み重なりが再度確認でき、数多くの生痕化石(生物の生活した跡)がみられること、多くの断層が複雑に切り合っていることがわかりました。鯨の化石も見つかり、貝化石礫岩のでき方を考える意味でも有益でした。現在も詳細なスケッチをとって検討を加えています。

また、二宮町の梅沢海岸でも、堅い岩盤を覆って、数十万年前と考えられる軟らかい砂層が見られ、床一面に生物の巣穴の跡の化石(生痕化石)が見いだされました。細く短い管はゴカイの仲間の巣穴と考えられ、太い生痕には明らかに数種類のタイプがあり、アナジャコやカニなどが考えられます。生痕化石は巣穴だけでなく、

生物の這った跡、糞の跡などもあり、作った生物が何なのか、ほとんど明らかにされていません。この梅沢海岸の化石は厚さ3mの砂に埋もれていたもので、この60年来で、はじめて現れた地層のようです。珍しい発見で、新聞にも取り上げられ、話題になりました。地層が軟らかいので、現在、保存処理を行っています。今後、化石について詳細に検討して、展示したいと考えています。



ゴカイ類の巣穴の化石(二宮町梅沢海岸)



生痕化石(大磯町西小磯海岸)

イブニングミュージアムウィークの報告

10月16日～21日まで開催し、19時まで開館するとともに6つの講座を開催しました(「星をみる会」は雨のため中止)。17時以降の入館者数と講座の来場者数はほぼ同じでした。夏とは違い、大人向きの内容でしたので、子どもは4人と少ないですが、平塚市役所の他部課からの参加も多く、普段とは少し異なる客層で、開催した甲斐があったと、喜んでいきます。

日付(講座参加者数):

16日(22人)、17日(17人)、18日(22人)、19日(16人)、

20日(13人)、21日(11人)

右)17日の講座の様子



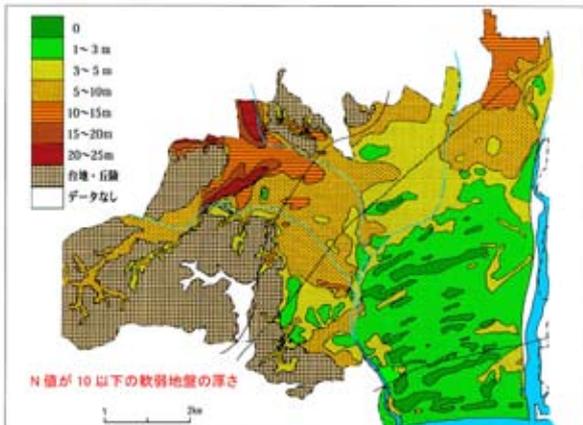
寄贈品コーナー「相模平野の微地形と地盤」展 開催中!(11月25日まで)

今夏、博物館では夏期特別展「平塚周辺の地盤と活断層」を9月9日まで開催し、大好評をいただきました。展示解説書と地盤図の増刷にともなって、「平野の微地形と地盤」をテーマに展示をします。

平塚の市街地を作る平野は起伏に富んだ微地形からなっており、大きく南部の砂州砂丘地帯と北部の自然堤防地帯に大きく分かれること、その微地形が地下の地盤を反映していること、軟弱地盤や液状化という問題が地盤や微地形と密接に関わっていることを示します。特に、平塚の平野の地下断面から、自分が住む大地がどんな地層から成っているのか、軟弱な泥層は何メートルくらいあるのか、軟弱地盤はどこで厚いのか、液状化はどのようなところで発生しやすいのか、などを見ていただければと思います。

2階のポスト特別展コーナーの活断層展示と併せて、是非ご覧下さい。

左図)平塚地域の軟弱地盤の厚さの分布



夏期特別展解説書

「平塚周辺の地盤と活断層」・「平塚周辺の地盤図」増刷のお知らせ

表記の特別展解説書と地盤図は、予想をはるかに超える好評をいただきました。そのため、特別展会期中に完売し、会期後半にご来場いただいた方には、手に入らないというご迷惑をおかけしました。遅くなりましたが、この度、増刷することができましたので、お知らせいたします。

11月2日より、博物館受付にて販売します。「展示解説書」(1000円)、「地盤図」(300円)

解説書:相模平野の微地形・地盤と軟弱地盤・液状化などとの関わりを中心に、解説しています。Ⅰ平塚周辺の活断層、Ⅱ相模平野の微地形と地盤、Ⅲ地震の被害と断層の恵み、の3部構成です。

「平塚周辺の地盤図」:2.5万分の1地形図に、微地形分類図、軟弱地盤層厚図、過去の液状化地点図、沖積基底等高線図、活断層図、吉沢面高度図、地質断面図の位置などを明記しました。

左)「平塚周辺の地盤と活断層」表紙



1	木	☆ 寄贈品コーナー「相模平野の微地形と地盤」 ～11月25日	寄贈品コーナー
2	金	古文書講読会	講堂
4	日	地質調査会	屋外
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
		古代生活実験室	科学室
8	木	石仏を調べる会	特研究室
9	金	古文書講読会	講堂
10	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		○ 遺跡を歩く会	屋外
		☆ プラネタリウム「フリートーク」～11/25	プラネ
11	日	○ 街の中の身近な自然探し	講堂・野外
14	水	民俗探訪会	特別研究室
15	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
16	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
17	土	○ 自然観察ウォーキング	野外
		博物館太鼓連	講堂
18	日	相模川の生い立ちを探る会	藤野町高倉山
		◎ ろばたばなし	民家
21	水	裏打ちの会	科学室
22	木	石仏を調べる会	特研究室
24	土	地質調査会	科学室
		地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ 考古学入門講座(第3回)	美術館アトリエ
		星まつりを調べる会	特研究室
		天体観察会	屋上・科学室
25	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
		◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
		天体観察会	科学室

1	土	地質調査会	屋外
2	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
8	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
9	日	相模川の生い立ちを探る会	厚木市巡礼峠
		平塚の古代を学ぶ会	屋外
14	金	天体観察会	月光天文台
15	土	地質調査会	屋外
<p><休館のお知らせ> 博物館はアスベスト対策工事のため、11月27日から年内休館します。 新年は1月4日(金)から通常通り開館します。</p> <p>☆館外の行事は12月も行います☆</p>			

☆: 展示、プラネタリウム ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

<参加者募集>

◎ 漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時: 11月10日(土) 午前9時30分～11時

場所: 平塚虹ヶ浜海岸

参加: 自由(初めての方は往復はがきで申し込んで下さい)

◎ ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時: 11月18日(日) (1) 午後1時20分～ (2) 午後3時～

場所: 展示室民家

参加: 自由

○ 考古学入門講座

3回連続の講座の3回目です。タイトルは「石からみた考古学」。この回だけでも申し込めます。

日時: 11月24日(土)

場所: 美術館アトリエ

参加: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して11月11日必着で申込。定員80人。

○ 自然観察ウォーキング

秋の花や草木の美を観察しながら里山を歩きます。

日時: 11月17日(土) 午前9時30分～午後3時(雨天時中止)

場所: 土屋地区

参加: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して11月6日必着で申込。定員30人。

<展示とプラネタリウム>

☆ 寄贈品コーナー「相模平野の微地形と地盤」

平塚の平野の地盤と地形、地質との関わりについて展示します。

日時: 11月1日(木)～25日(日)

場所: 展示室寄贈品コーナー

☆ プラネタリウム 全天周デジタルビデオ「銀河鉄道の夜」

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を最新の全天周映像システムを使ったCG映像で上映します。美術館の「絵で読む宮沢賢治」展とのコラボレーション事業です。

脚本・CG: KAGAYA studio 音楽: 加賀谷 玲

投影日: ～11月4日(日)の土、日曜日

観覧料: 100円(中学生以下無料)(美術館の宮沢賢治展チケットの観覧券でご利用になれます)

投影時間: 約30分(午前10時、11時、午後1時、2時、3時の5回)

午前11時と午後2時の回では、当日の星空解説もあわせて行ないますので、投影時間は50分となります。

定員: 各回70人

追加上映: 11月23日(祝)

好評をいただいている「銀河鉄道の夜」を特別に上映します。美術館の「絵で読む宮沢賢治」展のチケットに残った観覧券でも入場できます。

投影時間: 午前10時、11時、午後1時、2時、3時の5回

(星空解説は行いません)

定員: 各回70人

☆ プラネタリウム「フリートークプラネタリウム」

そのときどきの話題を学芸員の解説でお届けします。

投影日: 11月10日(土)～11月25日(日)

観覧料: 100円(中学生以下無料)

(土・日曜午前11時と午後2時)